

## LANdeVOICE PBSP403-PG 取扱説明書

PBSP403-PG は、既存の PBSP403 を基に、アナログ回線からのページング放送用途に最適化した製品です。

この取扱説明書では、PBSP403-PG 特有の機能、設定について説明します。

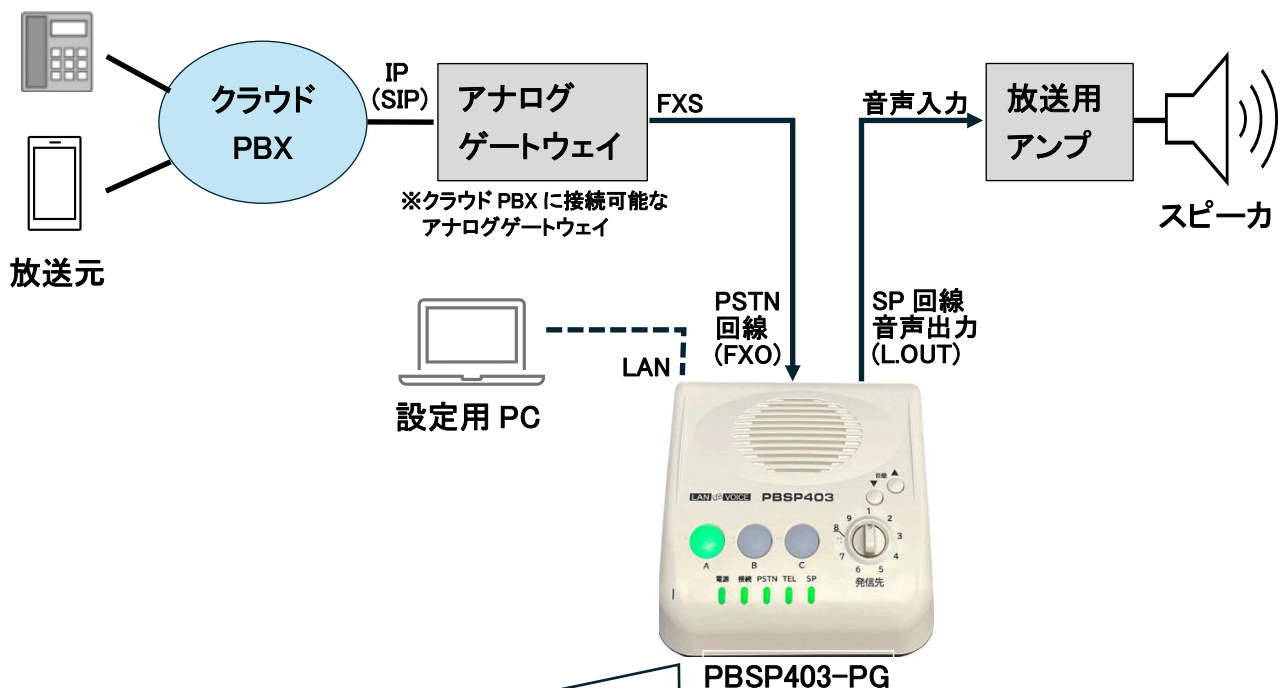
その他の部分は PBSP403 と共通のため、PBSP403 の取扱説明書を参照してください。

### ■PBSP403-PG の機能

PBSP403-PG は、PSTN 回線(FXO)または TEL 回線(FXS)に着信すると、SP 回線側に自動接続してページング放送を行います。

### 【クラウド PBX との接続例】

下図の様に、クラウド PBX にアナログゲートウェイ経由で接続することで、クラウド PBX 側からのページング放送が可能になります。



- ・PBSP403-PG の内蔵スピーカからも音声を拡声できます
- ・PBSP403-PG で放送開始チャイムおよび終了チャイム音を付加できます
- ・放送時には PBSP403-PG のボタン A が点灯します  
(放送中にボタン A を押すことで切断することも可能です)

上記の例の他に、構内交換機、公衆回線、アナログ電話機と接続することも可能です。

## ■PBSP403-PG の設定

PBSP403-PG 特有の設定について説明します。

### 【ビジートーンによる切断】

PSTN 回線(FXO)に接続する相手側機器(FXS)が切断時に極性反転しない場合、切断できずに相手側機器のビジートーンが放送されたままになります。  
このため、相手側機器のビジートーンを検出して切断できる機能を搭載しています。  
(ビジートーンで切断する場合は、切断時にビジートーンが数回、放送に流れます)

出荷時設定では下記の様に「0」で国内トーンで切断できるようになっています。  
海外製の機器等と接続する場合、「1」で北米トーンにすると切断できる場合があります。  
その他の特殊なトーンを出す機器と接続する場合は、「-1」に設定し、トーン音を定義した tonecnfg.ini ファイルを読み込ませる必要があります。

tonecnfg.ini による設定が必要な場合は弊社（株式会社エイツー）へお問い合わせください。

#### システム設定ファイル (syscnfg.ini)

|              |    |                     |
|--------------|----|---------------------|
| PRESET_TONE  | 0  | ！国内トーン              |
| !PRESET_TONE | 1  | ！北米トーン              |
| !PRESET_TONE | -1 | ！tonecnfg.ini を使用する |

### 【ダイヤルトーンによる切断】

PSTN 回線(FXO)に着信してすぐに切断された場合、正常に切断できずに相手側機器のダイヤルトーンが放送されたままになる場合があります。  
このため、相手側機器のダイヤルトーンを検出して切断できる機能を搭載しています。

ダイヤルトーンの種別も上記の PRESET\_TONE で設定します。  
PRESET\_TONE の設定を行った後、待機時に PBSP403-PG のボタン A を押すと PSTN 回線をオフフックしますので、ダイヤルトーンにより切断されることをテストできます。  
切断されない場合は弊社（株式会社エイツー）へお問い合わせください。

### 【無音時の自動切断】

万一正常に切断できなかった場合に、放送されたまま持ち切りになるのを防ぐために、放送音声が一時間無音になると自動切断する機能を搭載しています。

出荷時設定では下記の様に 50dBm 以下を無音として 60 秒続いた場合に切断するようになっています。無効にするには、行頭に「!」を付けてコメントアウトしてください。

#### システム設定ファイル (syscnfg.ini)

|              |     |    |                                 |
|--------------|-----|----|---------------------------------|
| SILENCE_DISC | -50 | 60 | ！-50dBm 以下を無音として 60 秒続いた場合に切断する |
|--------------|-----|----|---------------------------------|

## 【放送の開始番号設定】

通常は PBSP403-PG に着信すると、自動的に放送する設定になっていますが、想定した放送元以外から放送されるのを防ぐため、発信元から特定の番号をダイヤルすることで放送を開始することができます。

（放送元からの DTMF 音を PBSP403-PG まで伝達できることが前提です）

出荷時設定では下記のようにしていますが、行頭に「!」を付けてコメントアウトすると、「20」をダイヤルすることで放送が開始されるようになります。

### システム設定ファイル（syscnfg.ini）

|           |    |                  |
|-----------|----|------------------|
| AUTODIAL1 | 20 | ! TEL 回線用自動発信番号  |
| AUTODIAL3 | 20 | ! PSTN 回線用自動発信番号 |

また、出荷時設定では下記のようにしていますが、「20」の部分を変更することで放送開始の番号を変更できます。

### 電話番号設定ファイル（phone.ini）

|    |                |                   |
|----|----------------|-------------------|
| 20 | 127.0.0.1:4446 | ! SP 回線（L.OUT）へ発信 |
|----|----------------|-------------------|

## ■PBSP403-PG では使用しない機能

下記の PBSP403 の機能は、PBSP403-PG では使用しません。

- ・ PSTN 回線および TEL 回線への発信
- ・ SP 回線からの発信
- ・ L.IN 入力、C.IN1/2 端子、発信先セクタ、操作ボタン B/C
- ・ 呼制御サーバおよびマルチキャスト斉同報サーバとの接続
- ・ LAN(IP)による音声通信

（LAN は設定画面による設定変更を行うための目的のみで使用します）

また、出荷時の設定パラメータも PBSP403 とは異なり、PBSP403-PG として必要な設定パラメータのみを記載してあります。

## ■注意事項

- ・ LAN(IP)による音声通信が必要な場合は PBSP403 を使用してください。  
PBSP403-PG では、LAN(IP)による音声通信は保証していません。
- ・ PBSP403-PG の TEL 回線(FXS)と、他の機器の FXS とを誤って接続すると、給電同士の接続になり、機器が故障する可能性があるため、絶対に接続しないよう注意してください。

株式会社エイトー